

中小企業が企業成長するための 働き方改革

2017年11月7日
社会保険労務士法人シグナル
代表社員 有馬美帆

企業成長するための働き方改革

①人材確保

②業務効率化

③コスト削減

①人材確保

▶残業時間削減

▶ワークライフバランス支援

…育児・介護・健康・家事・リフレッシュ

▶多様な勤務形態

…フレックスタイム制度・勤務間インターバル制度
在宅勤務制度・短時間勤務制度・週休3日・副業OK

②業務効率化

▶設備投資

▶ITツール導入

…業務管理システム・グループウェアツール
テレビ会議・集中力可視化ツール・RPA等

③コスト削減

- ▶ムダな残業時間削減
- ▶ムダな紙削減
- ▶ムダな会議時間削減
- ▶ムダな移動時間削減

中小企業の実態

- 働き方改革は大企業の話だけだと思っている
- 人材の確保といっても離職者の補充だけなので、なんとか補充できてしまっている
- またすぐに不景気が来ると思っているので、今依頼がきている仕事を断れない（残業時間増）
- またすぐに不景気が来ると思っているので、容易に人材補充や賃上げをしない
- 業務効率化やコスト削減にも踏み切らないので既存労働者の負担増
- 残業時間削減のみが働き方改革だと思っている
- 施策が多数あることを知らない
- どの施策を導入すればいいか分からない
- 経営者が現場に出ているので考える時間や施策導入する余裕がない
- 育児や介護の問題が発生すると、制度として時短勤務や在宅勤務がなくても、その労働者に合った制度を導入しており、問題が起きてから対応すれば良いと思っている

働き方改革推進における社会保険労務士活用法

- ▶ 毎月訪問するケースが多く、
企業と二人三脚で働き方改革を推進できる
- ▶ 他の企業の成功事例と失敗事例を知っている
- ▶ どの施策が、その企業に合っているのか
提案することができる

事例紹介

全国に8拠点
従業員数200人



事例紹介

管理部が3人

その内、1人が産休・育休取得

しかし、代替要員を確保できなかった

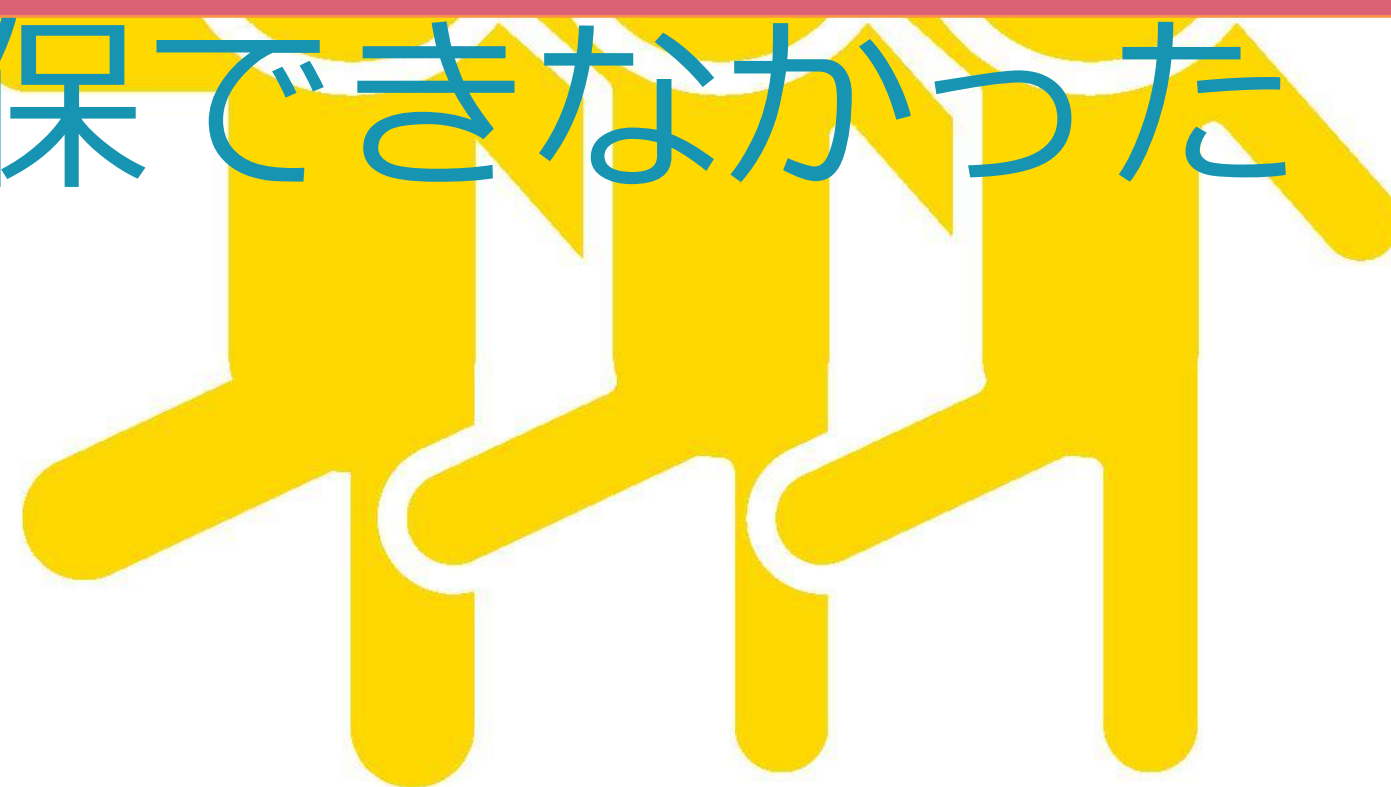


事例紹介

管理部が3人

①人材確保 失敗

しかし、代替要員を確保できなかった



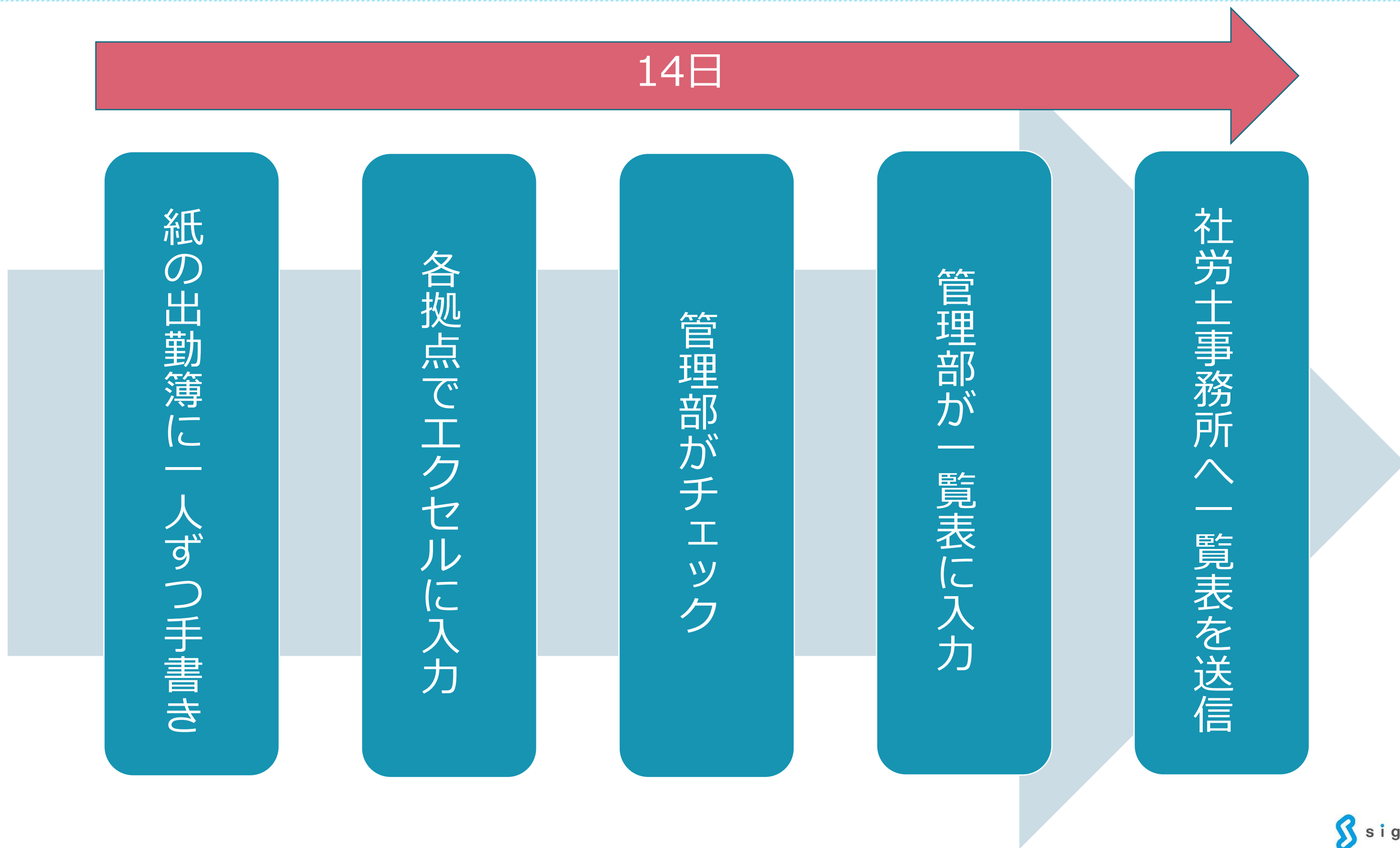
事例紹介 弊社サポート内容

- ▶ 管理部の業務内容を理解しており、どの業務が他社と比べて非効率か知っていたのでITツールの導入を勧めた
- ▶ 多数あるITツールの中からどのITツールが合うか提案した
- ▶ 毎月訪問していたので、ITツールの疑問点や不明点を解決していった

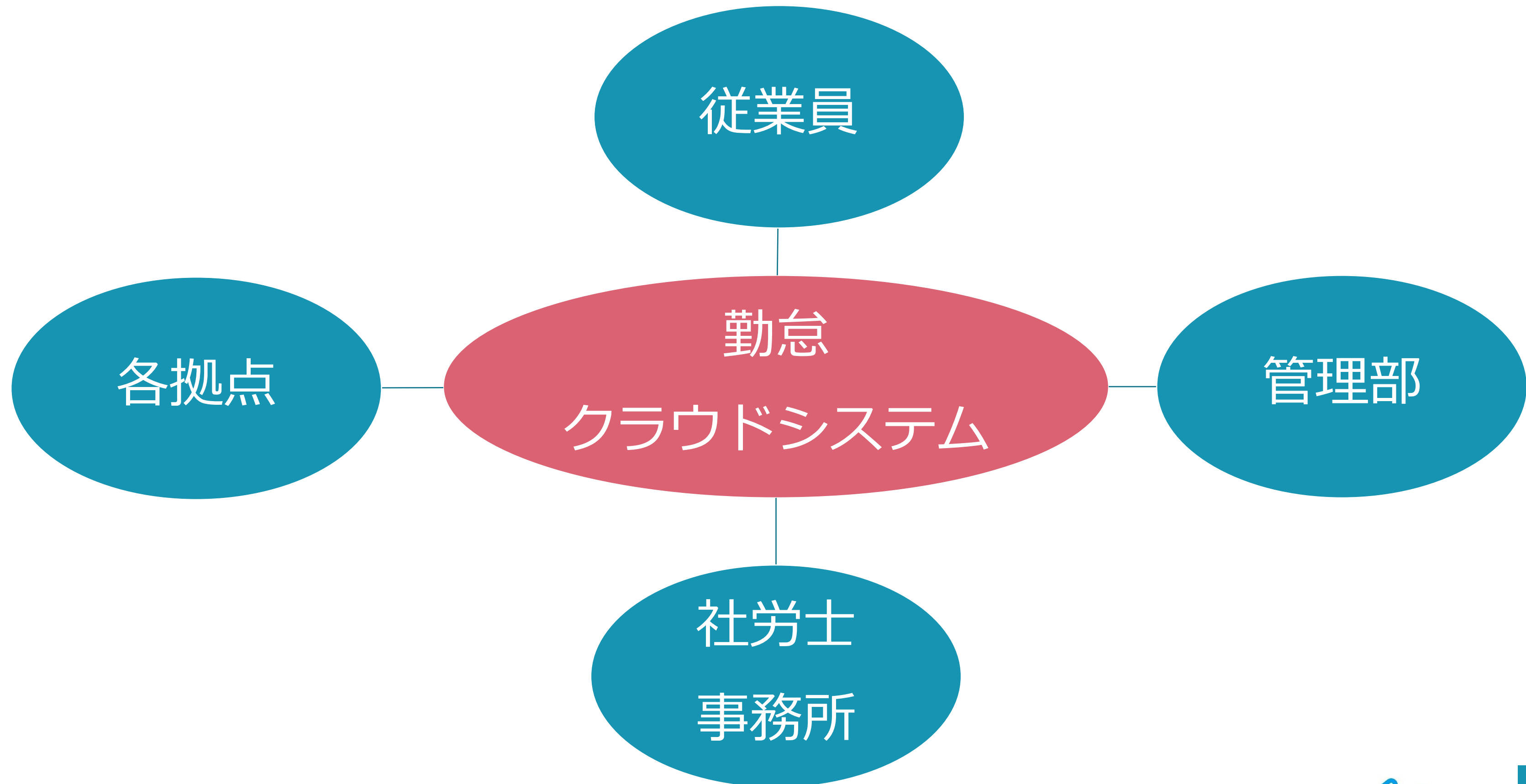
②業務効率化

ITツールの導入：勤怠クラウドシステム

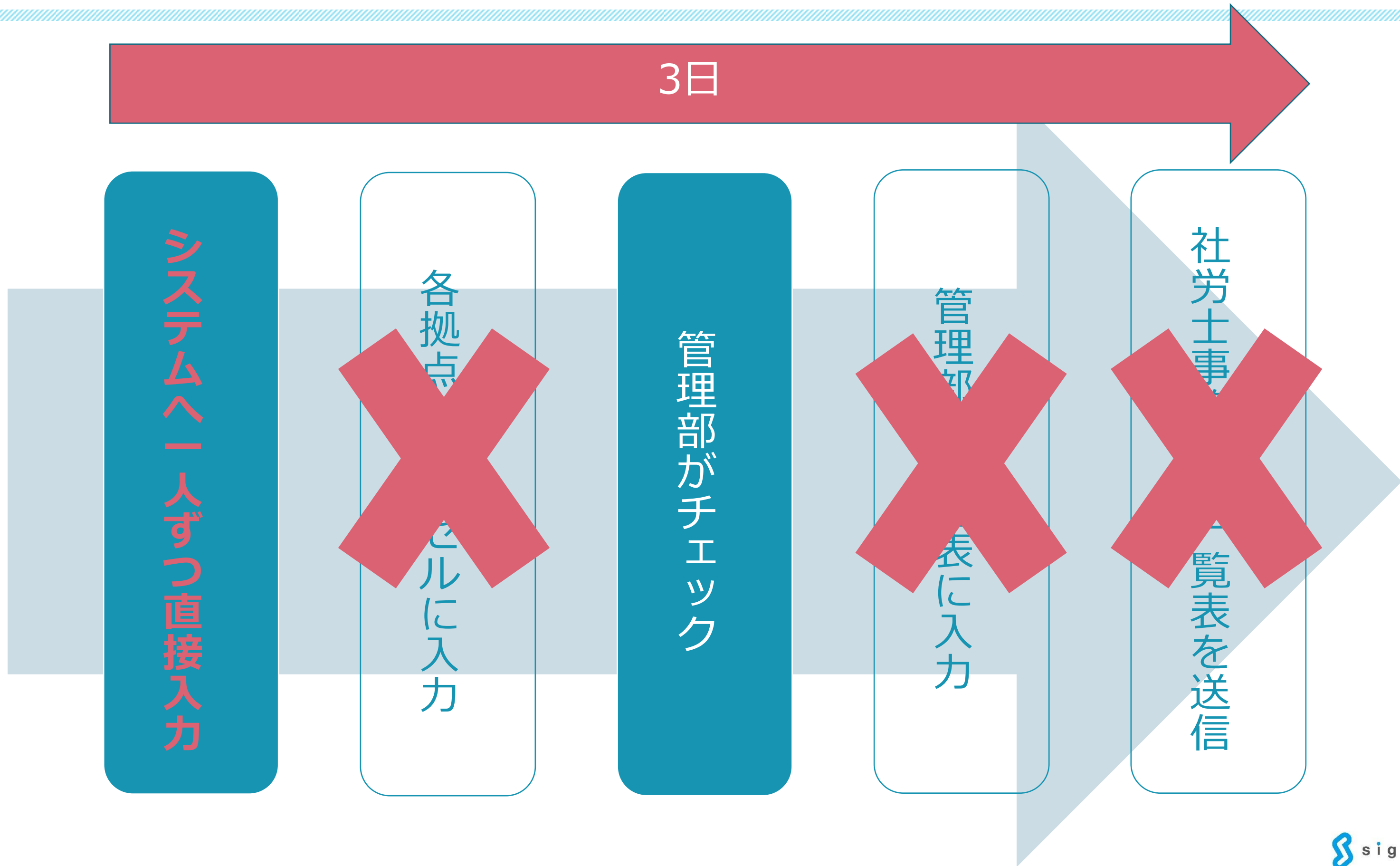
事例紹介 今までの給与計算工程



事例紹介 勤怠クラウドシステムで効率化



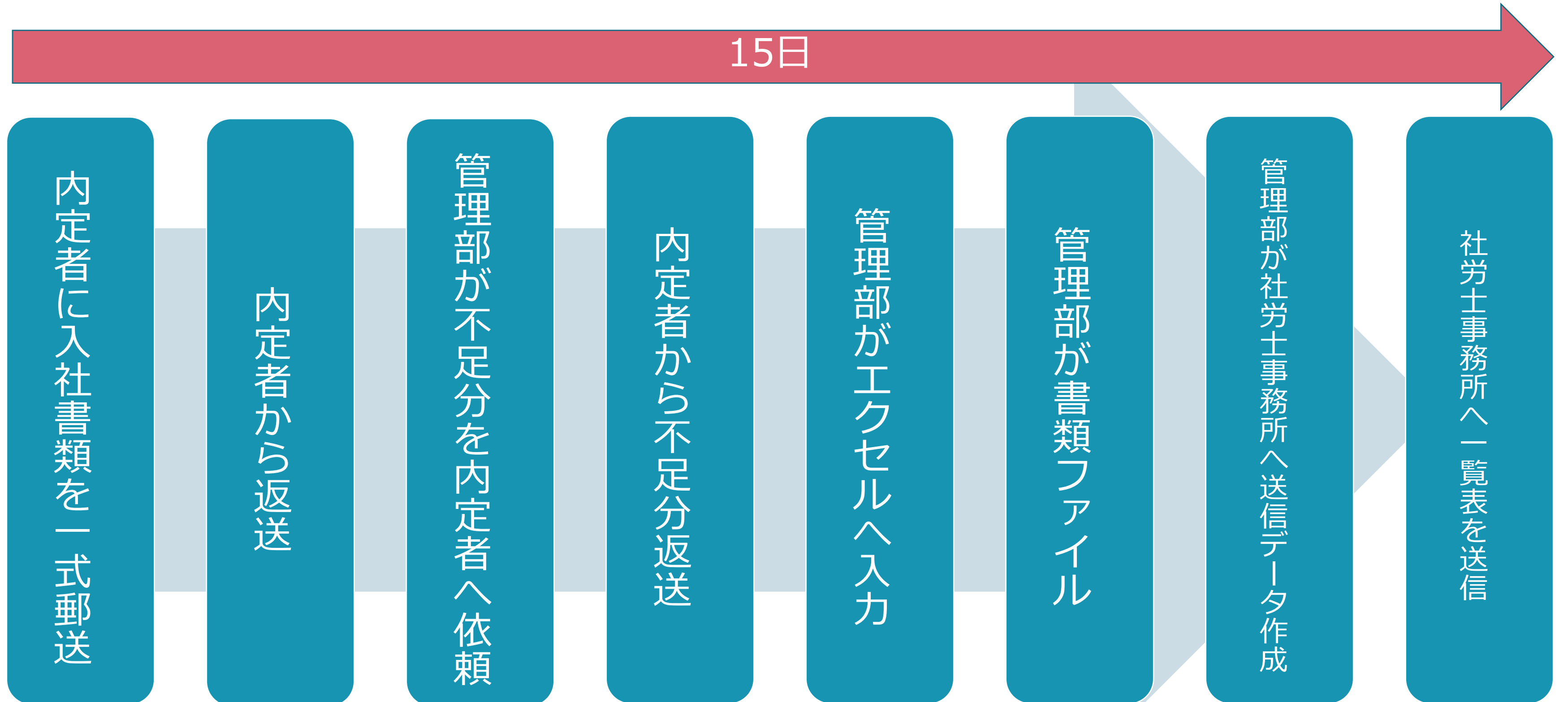
事例紹介 勤怠クラウドシステムで効率化



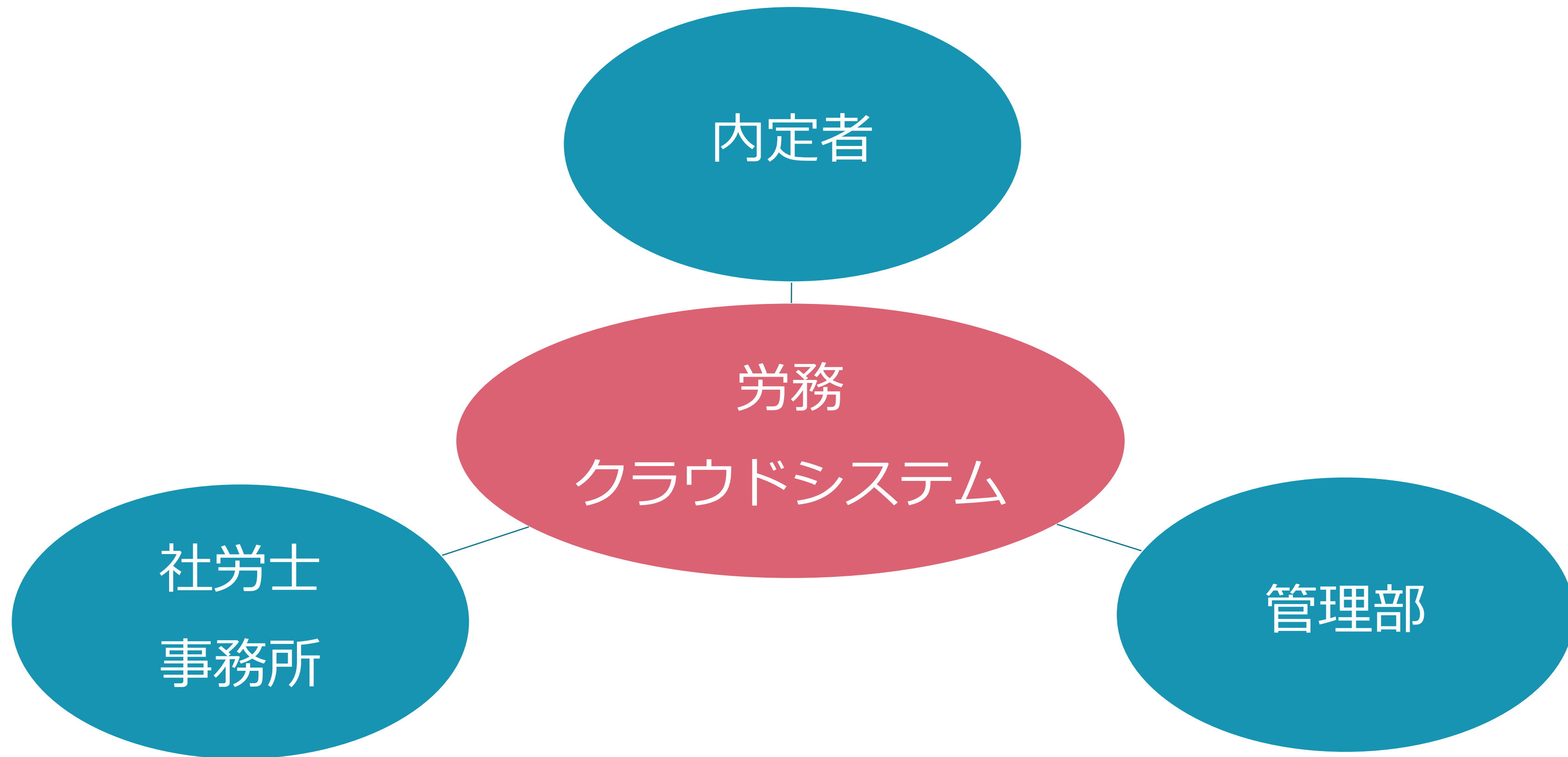
②業務効率化

ITツールの導入：労務クラウドシステム

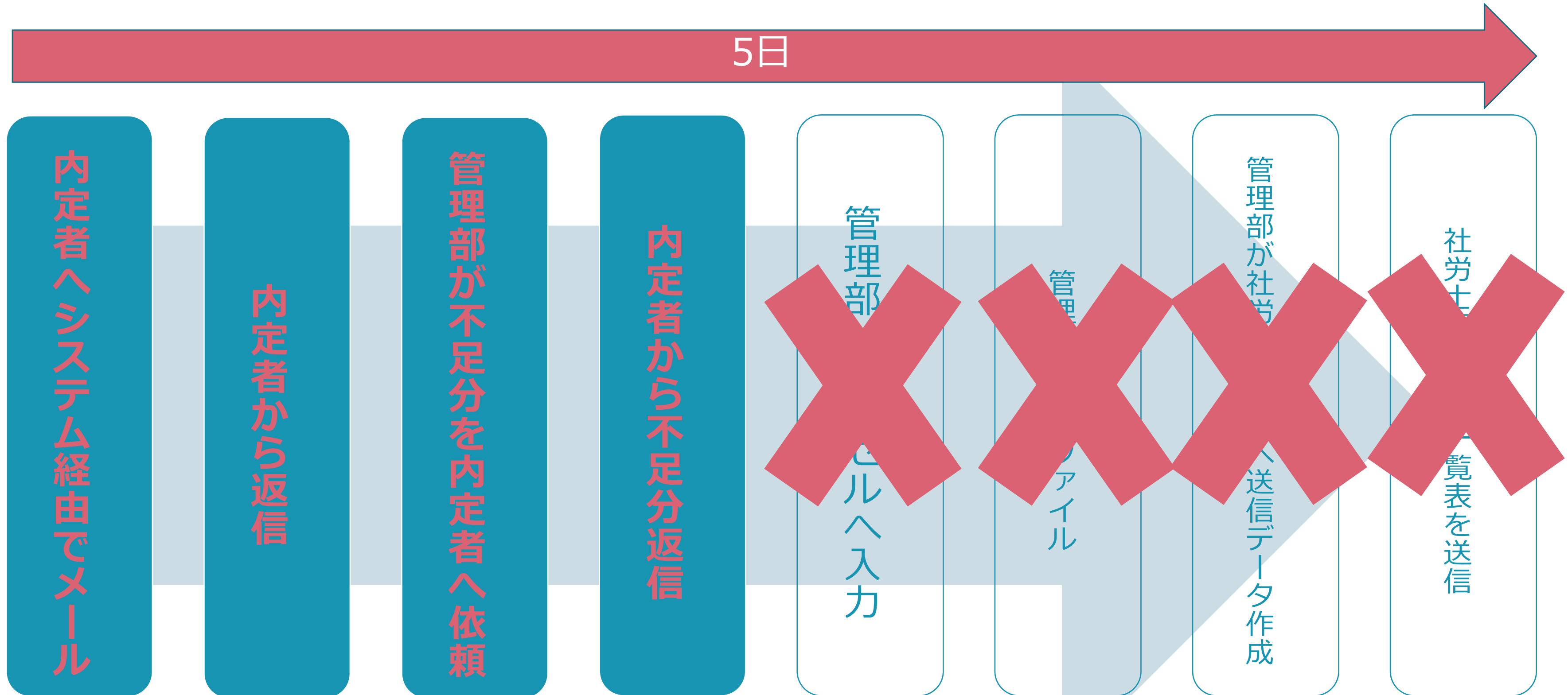
事例紹介 今までの入社工程



事例紹介 労務クラウドシステムで効率化



事例紹介 労務クラウドシステムで効率化



事例紹介 労務クラウドシステムで効率化

②業務効率化 成功

勤怠・労務クラウドシステムで効率化例

- 紙に手書きで記載している出勤簿をITクラウドシステムで管理できる
- 郵送でやり取りしている入社書類がITクラウドシステムで管理できる
(労働者の家にプリンタがなくても対応可能)
- 紙で配っている給与明細を、ITクラウドシステム経由で配布できるので、印刷・封筒に入れこむ作業が削減できる
- 紙でおこなっている年末調整をITクラウドシステム経由で出来る
- 紙でおこなっているマイナンバー管理をITクラウドシステム経由で出来る
- 紙で配っていた源泉徴収票をITクラウドシステム経由で配布できる
(紛失してもITクラウドシステムで見れるので再発行の手間がいらぬ)
- 電子申請が簡単にできる

事例紹介 ③月々のコスト削減

人件費	¥ 250,000
勤怠クラウドシステム費用	▲ ¥ 60,000
労務クラウドシステム費用	▲ ¥ 60,000
コスト削減	¥ 130,000

事例紹介 ③月々のコスト削減

③コスト削減 成功

ITクラウドシステムにおける中小企業の実態

- ITクラウドシステムの存在は、なんとなく知っている
- ITクラウドシステムは高額だと思っている
- どんなITクラウドシステムがあるのか知らない
- 実態として書類を探しているムダな時間がある
- 紙をPC管理できれば、検索機能などですぐに探せることを知らない
- こんなにも業務効率化・コスト削減できることを知らない
- ITリテラシーが高くないので自社の人材ではクラウドシステムを使いこなせないと思っている
- 経営者が提案しても「それは大企業の話ですよ」と言う労働者が社内にいる
- 経営者も現場に出ており、日々の業務に忙殺されている
- どのITクラウドシステムが自社に合っているのか分からない
- お試しプランに申し込みをしても基本設定が複雑で放置してしまう
- ITリテラシーが低い社員からの反発に遭いリタイアしてしまう

クラウドシステムにおける社会保険労務士活用法

- ▶ 人事労務クラウドシステムであれば導入支援ができる
- ▶ どのクラウドシステムが、その企業に合っているのか提案することができる
- ▶ 毎月訪問しているので、クラウドシステムの不明点や疑問点を解決できる

この企業は、この施策の成功をきっかけに
弊社のサポートを受けながら他の施策も次々にチャレンジした

事例紹介

弊社がサポートし、どの施策にチャレンジするのか、
どうチャレンジしていくのか検討
実施後も毎月サポートし、人事評価制度や就業規則も変更。
採用活動でアピールし出し、優秀な人材確保に繋がる。

- 残業時間削減…元々残業はほぼない企業。ただそれを**採用でアピールしていなかった**
- ワークライフバランス支援…残業がないので現にできていた
- 多様な勤務形態…**短時間勤務制度と週休3日制度を導入**
採用でアピールでき優秀な人材確保につながる
- 設備投資…検討したが一旦保留
- ITツール導入…人事労務システムを導入
- ムダな残業時間削減…元々残業はない
- ムダな紙削減…ITツール導入をきっかけに**社内のITリテラシーが上がった**
- ムダな会議時間削減…元々会議はそんなになかった
- ムダな移動時間削減…元々移動はそんなになかった

中小企業の働き方改革 成功のコツ

社労士とともに、まずは一つ施策にチャレンジし、
成功体験を積む